米作り体験隊（８）　　＊＊＊　稲の成長（６）　＊＊＊　　（２０１５．９）

９月５日（土）　　朝：６時５０分

田んぼの稲は順調に実りを進めています。　収穫まであと１か月余りとなりました。

しっかりとモミ米を育てています。

今朝は、大山の姿も見え、生育を見守っているように思われます。

田んぼには、なみなみと水が注がれています。

覚えていますか。水の取り入れ口です。

トンボを撮りました。２匹います。探してください。

分類は「トンボ目」別名『蜻蛉（セイレイ）』、『秋津（アキツ）』と呼ばれます。
素早く飛び回り、蚊などの害虫を捕食します。

前にしか進めず、退かないので「不退転」の精神を表すとして、縁起物として武士に喜ばれたそうです。

向かい西側の水田です。試験的に様々な品種が栽培されています。
それぞれにプレートが立てられています。
稲穂は、いまいちのようです。

「恋の予感」と記されたプレートもありました。

「恋が実る」には、もう少し、時が必要のようです。

「稲の観察」

私たちの田んぼから稲を３本もらい観察します。

穂先についたモミ米です。

近づくと、モミのひだが鮮明です。中のお米は成長の途上と思われます。

お米が、まるまると育つとひだの彫りが薄れてきます。

穂先を取り外し、ばらばらにしました。

穂先の数は、８本にわかれました。

モミの数は、１０１個ありました。
穂先別に並べてあります。

（左から右側に並べました。小さな粒々です。並べつつ次第に上達し、そろえることができました）

別の穂先も数えてみました。

上：　穂先　　９本
　　モミ　９４個

下：　穂先　　８本
　　モミ　８９個

（焼き鳥ではありませんよ）

稲の株です。田植えのとき「苗」を何本植えましたか。　思い出してください。
今では、株分けが進み、メジャー近くの株は、２１本にもなっていました。
（すべての株がこの本数ではありません。植えた苗の数によって、増減があります）

＜観察の結果＞

穂先の数は　８～９本。　モミの数は　８９、９４、１０１個　　平均すると　９４．６個
一株当たりのモミの数は、　９４．６×２１＝１，９８６．６個となります。
私たちの田んぼ全体のモミの数は、・・・　田んぼ全体の株数を数えないと計算はできません。

モミを接写しました。

モミの右側が先端です。

とても可愛い形をしています。